

(専門基礎分野)

授業科目	疾病と治療Ⅶ	講師	小児科医師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.小児でよく遭遇する機能障害とその治療について理解する。				時間数
					15
					学年
					2
					時期
					第1学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	遺伝子・染色体異常と形態異常  新生児の疾病とその治療	1.先天異常 1)メンデル遺伝病、染色体異常症 2)先天代謝異常症とマススクリーニング 3)形態異常  以下各疾患の病態、症状、検査、治療含む		講義	小児科医師
2	消化機能障害とその治療	1.口唇裂・口蓋裂 2.先天性食道閉鎖症 3.肥厚性幽門狭窄症 4.ヒルシュスプルング病 5.腸重積症 6.鎖肛 7.先天性胆道閉鎖症		講義	小児科医師
3	呼吸機能障害とその治療  神経の機能障害とその治療	1.感染性肺炎 2.細気管支炎 3.気管支喘息  1.てんかん 2.熱性痙攣 3.髄膜炎 4.二分脊椎		講義	小児科医師
4	循環機能障害とその治療  免疫疾患・膠原病とその治療	1.動脈管開存症 2.ファロー四徴症 3.完全大血管転位 4.乳幼児突然死症候群  1.川崎病		講義	小児科医師

5	腎の機能障害とその治療	1.ネフローゼ症候群 2.糸球体腎炎	講義	小児科 医師
6	内分泌・代謝の機能障害とその治療 血液疾患・小児がんとその治療	1.成長ホルモン分泌不全低身長症 2.糖尿病 1.特発性血小板減少性紫斑病 2.血管性紫斑病 3.白血病 4.神経芽細胞腫 5.ウィルムス腫瘍	講義	小児科 医師
7	感染症とその治療	1.溶連菌感染症 2.水痘 3.麻疹 4.風疹 5.流行性耳下腺炎 6.手足口病 7.RS ウィルス感染症 8.伝染性単核症	講義	小児科 医師
終講試験				
評価 方法	筆記試験 100点	テキ スト	系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論	